|  |  |
| --- | --- |
| 申請分野【第１志望】 | 第１志望の申請分野にチェックを入れてください[ ] バイオサイエンス　[ ] 革新的学際　 [ ] 脱炭素・環境　[ ] グローカル推進 |
| 申請分野【第２志望】＊任意 | 第2志望の申請分野にチェックを入れてください[ ] バイオサイエンス　[ ] 革新的学際　 [ ] 脱炭素・環境　[ ] グローカル推進 |
| 申請分野【第３志望】＊任意 | 第3志望の申請分野にチェックを入れてください[ ] バイオサイエンス　[ ] 革新的学際　 [ ] 脱炭素・環境　[ ] グローカル推進 |
| 募集対象区分 | 該当する募集対象区分にチェックを入れてくださいＡグループ　[ ] 2022年4月入学・進学予定者　 [ ] 2022年10月入学・進学予定者Ｂグループ　[ ] 2022年4月2年次進学予定者　 [ ] 2021年10月2年次進学予定者（その他：　　　　　　　　　　　　　） |
| 氏名 |  | 年齢 |  |
| 生年月日 | 西暦　　年　月　日 |
| 現在の所属・学年（他大学申請者は、大学名から記載） | 　　　　　　大学　　　　　　研究科　　　　　　専攻　　　　年以下のプログラムに在籍している学生は、該当箇所にチェックをいれてください。〇国際連携教育課程　　[ ] JDP　[ ] AGP　[ ] DDP |
| 学籍番号 | \*申請時に把握している学籍番号を記入してください |
| 連絡先 | 携帯番号 |  |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |
| 卓越大学院プログラム、その他プログラム等の在籍状況（該当者のみ） | 現在、または過去に在籍した卓越大学院、その他プログラムがある学生は該当箇所にチェックを入れてください。〇卓越プログラム　[ ] GTR　[ ] DII　[ ] CIBoG　[ ] TMI〇その他（　　　　　　　　　　　）プログラム名を記載してください。 |
| 支援期間中の奨学金等受給状況 | 支援期間中に下記の奨学金等の受給が、[ ] 決定していない　[ ] 決定している(「決定している」場合は、申請ができません。）・日本学術振興会の特別研究員・国費外国人留学生制度・母国からの奨学金を受給・その他奨励金（当リサーチャー事業と併給できないもの） |
| 支援期間中の収入制限への該当予定 | 収入制限に、[ ] 該当しない　[ ] 該当する（「該当する」の場合は、申請ができません。）※所属する大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準（240万円/年）で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生は応募できません（アルバイトに係る賃金は除く） |

自身の研究をさらに発展させるために、異分野の人と交流し、国際共同研究・融合研究なども取り入れていくことを求めています。指導教員等ともよく相談して、本支援期間中（3年間）で実施する研究計画を立て、以下の申請書に明記ください。なお、専門が異なる教員が審査員の場合もあります。専門外の委員でもわかるような内容、表現で記載ください。

|  |
| --- |
| 【研究題名】 |
| 【研究計画】（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は**３頁**に収めてください。様式の変更・追加は不可。10.5ポイント以上の文字で記載すること(以下同様)）(1) 研究の位置づけ博士後期課程（Ａグループ）または博士課程（Ｂグループ）の本支援期間中（3年間）で取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。(2) 研究目的・内容等① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。第一志望にしている分野との関係にも触れてください。④ 所属研究室の研究活動との関連において、提案者が担当する部分を明らかにしてください。⑤ 研究計画の期間中に異なる研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。(3) 研究実績（国内・国際学会発表、投稿論文等） |
|  |

|  |
| --- |
| 【研究遂行力等の自己分析】※各事項の字数制限はありませんが、全体で**１頁**に収めてください。本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における「自身の強み」について、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。本事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材になっていただくことを目的にしています。その目的に関して、すでにこれまでの活動経験から得た能力等があればこの欄に記載ください。　 |
|  |

|  |
| --- |
| 【目指す研究者像等】※各事項の字数制限はありませんが、全体で**１頁**に収めてください。本事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材を育てることを目的にしています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」と「博士号取得後のキャリアパス」(2) 「キャリアパス実現のため必要と考えている要素」と「実施予定をしている活動や経験」を記入してください。特に、国際共同研究・融合研究を行うことや、異分野の国内外の多くの人々との接点を持つことを推奨しています。それらへの取組意欲や具体的な活動などについても記載してください。 |
|  |